

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入し、回覧板で地域行事の情報を得て盆踊りや公民館での演芸大会に参加している。ホームの行事案内も自治会長を通じて行っているが参加までには至っていない。日常の散歩で挨拶を交わしたり、時には近くの畑の人が野菜を届けてくれたり、ボランティアや子ども110番の受託もしており、積極的に交流を図っている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	概ね2カ月毎に計画しているが、メンバーの都合が合わず開催されないこともある。メンバーは入居者家族、区長、昨年秋から地域包括支援センターの参加も得て、ホームリビングで開催している。内容は運営状況、業務活動報告、外部評価の報告と改善結果、行事報告等である。入居者が加わることもあり、ホームの現状やレクリエーションの様子等を知ってもらい、理解や支援が得られるよう働きかけている。意見交換、情報提供をサ・ビス向上に活かしたいと考えており、家族へは郵送し、職員には回覧して情報を共有している。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	困難なケース等、何かあれば豊田市高齢福祉課へ都度電話や訪問して、相談し助言や指導を得ており協働関係が構築されている。市主催のイベントや介護関係の講習会の情報はなく参画していない。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	玄関にある大きな意見箱の利用はない。家族会はないがもちつき、おまつり等のホームの行事には案内をだして参加を呼びかけている。面会時、介護計画の説明、電話した時には要望や意見等を気軽に伝えられる雰囲気づくりに努めている。内容によっては職員と会議で話し合い改善やサービスの向上に反映させている。折に触れて入居者の日常や行事での表情を写真に撮り「ジョイア便り」とともに送付しており、家族には好評である。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	×
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは開設当初より地域との関わりの必要性を理念にも明示し、日常生活の中で地域活動に参加したり、ホーム行事の案内をして相互交流に努めている。家族へは定期的及び何かあれば随時連絡をとっている。家族も訪問時には自由に意見、要望等話をしており、内容は直ぐに検討されている。ホームと家族、行政とは協働・信頼関係を築き、サービスの向上に向け日々取り組んでいる。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。